



建設が進む松江市総合体育館



2011年に完成した尾原ダム (国土交通省出雲河川事務所提供)



豪雨災害の復旧工事現場



中国横断自動車道 尾道松江線吉田掛合IC付近 (国土交通省松江国道事務所提供)

土木工事業とは、山や川といった自然を相手に、道路トンネル▽ダム▽鉄道▽空港▽上下水道▽橋▽河川など、人の暮らしの根幹に関わる構造物を造る仕事です。土木構造物は、主に国や地方自治体から発注されるため、規模の大きな工事が中心。設計から工事まで、とび工事業やコンクリート工事業など多職種の人々と協力しながら完成を目指します。そのためにも密なコミュニケーションを取り合うことが不可欠です。土木工事業は、目に見えないところで社会インフラを支える縁の下の力持ちのような存在。何十年先まで構造物が残るやりのある仕事で、造り上げる構造物の中には、人々を震災や

土木工事業

知っていますか？

建設業界は、大工工事業や基礎工事業、管工事業など多数の業種が細かく分類されています。各業種は大きく土木工事業と建築工事業の2つに分けられ、仕事内容もそれぞれ違います。今回は、わかっているようで実はあいまいだった「土木」と「建築」の違いを紹介し、どちらの仕事も、完成した時の達成感はひとしおで、地域への貢献を誇れるものです。

土木工事業と建築工事業の違い

土砂崩れなどの災害から守る役割を持つものもあります。環境への配慮など土木技術は日々進化しており、これから先も人が暮らしていく限り、土木工事業の需要がなくなることはないでしょう。

建築工事業

建築工事業は、学校▽病院▽マンション▽オフィスビル▽遊園地など、人々が住み働き活動するための空間を建設する仕事です。私たちが普段、オフィスで快適に仕事をし、休日には百貨店で買い物を済ませるのは、建築工事業の支えがあつてこそです。建築工事業の発注先は個人や企業が中心で、企画から設計、施工、維持管理までを行います。日本の高さを誇る電波塔東京スカイツリーなど、ユーザーが望むオリジナルの建築物を設計し、型枠大工工事業や

左官工事業などさまざまな職種の技術者と協力しながら造り上げていきます。近年は、新築や既存の建物を対象に、地震に強い免震・耐震・制震技術を取り入れた工事も増加しており、より安全・安心な環境づくりが進んでいます。2020年には東京五輪なども控えており、今後ますます重要な社会的役割を果たすことのできる仕事です。



建設資材や建設機械の山中への運搬にはヘリコプターも使う



一般住宅の建設作業現場



JR三江線井原川橋梁の復旧工事



公共施設の工事現場

地域とともに、地域のために もっと知ろう! 建設業のこと!

未来はもっと楽しくなる。

地方の建設業は、地域住民が快適な生活を送る上での社会基盤整備事業などを進め、地域の雇用や経済を支えてきたほか、災害時には迅速な生活インフラの復旧工事などを担当、地域住民の安心・安全な生活を守っている。しかし、近年は公共工事の削減などにより、建設業者数の減少や従業員の減少が進み、人手不足が深刻化。直近の景気回復に伴う民需拡大傾向への対応に苦慮している。

特に地方にあつての建設業は、裾野の広い業種として雇用面で大きな役割を果たし、地方経済を支えてきた側面があり、地域住民が安心して暮らしていくためにも建設業の存在は大きい。そこでシリーズを通じ、縁の下の力持ちとして地域に貢献する「建設業」に焦点を当て、魅力を紹介していく。

地域と住民を支え、守る建設業



建設業の3つの役割

「社会資本の整備」

建設業の役割の一つは、道路やダム、トンネル、廃棄物処理場など、人々の暮らしに欠かせない施設を建設し、社会基盤を整備することだ。さらに農・水産業の盛んな島根では、生産性を向上させるほ場整備や船舶が安全に航行するための漁港整備なども地場産業振興には欠かせない。また、今年3月に開通した中国横断自動車道尾道松江線は、山陽・四国地方との物流の活性化による産業振興、観光面での貢献も大きく、社会資本の整備が島根を元気にしている。

「安心安全な暮らしの提供」

建設業界には地震や土砂崩れなど、自然災害時には迅速な対応が求められる。島根県建設業協会は、国や県と災害協定を結び、人員や重機などを被災地に投入できる仕組みを構築しており、災害で道路が寸断され、被災地に救援物資が運ばない場合は、建設業者が直ちに土砂の撤去や路線確保などの復旧作業にあたる。そのほか、老朽化の進む主要道のトンネル、橋梁などの構築物の維持管理も不可欠。記憶に新しい2012年山梨県で起きた笹子トンネル天井板落下事故のような事案を防ぐためにも、日々の点検・改修、補強工事などを継続的に行う必要がある。

「環境の保全と創造」

未来の地球のために環境保全事業に取り組むことも建設業の重要な役割だ。都会地ではヒートアイランド現象を抑制するために、ビルなどの屋上や壁面に植栽を施す緑化の取り組みが実施されている。島根県の一例では、夕日スポットとして有名な宍道湖の葦岸整備がある。水辺にヨシを植栽し、水質改善や水辺の生き物のすみかを作るなど生態系の保全に力を入れている。また、太陽光や風力発電など自然エネルギーの活用を図る施設の設置工事なども建設業は大きな役割を果たしている。

企画・製作 山陰中央新報社

地域を支える 多彩な業種

- 造園工事業**
樹木の管理や里山整備、公園設備、テニスコートの整備など、自然素材を活かして美しい「景」を創る総合的な仕事。
- 遊艇(ゆんせう)工事業**
船が安全に航行できるように、河川や港湾に堆積したヘドロを取り除いたり、海底を掘り下げたりする仕事。
- 舗装工事業**
道路の表面を強化し、人や車が快適に通行できるように舗装する。
- 大工工事業**
適した木材を選び、のこぎり・かんなどを使って木造建築物の建築・修理を行う。
- 型枠大工工事業**
鉄筋コンクリートの建物を建てる際に必要となる、コンクリートを流し込む「型枠」を作る仕事。
- とび・土工工事業**
工事現場で、高所での作業を専門とし、建物の骨組みや工事の安全設備を造る。「現場の華」とも称される。
- 切断穿孔(せんくわ)工事業**
ダイヤモンド工具を用い、道路や橋などを切断したり、穴をあけたりする工事。
- コンクリート圧送工事業**
建設現場に搬送された生コンクリートとコンクリートポンプ車を使用し、「形状へ流し込む」専門工事業。
- 機械土工事業**
ブルドーザーやバックホウなど、土を動かす機械を駆使し、土構造物を作る。
- プレストレスト・コンクリート工事業**
鉄筋コンクリートよりも強度の優れた構造で、橋梁・高速道路網やエネルギー関連施設など大空間建築物を造る。
- 建設揚重業**
移動式クレーンを使い、重量物を吊り上げ、移動させる仕事。
- 鋼構造物工事業**
鋼材を骨組みとするビルや橋を製作し、現地に据え付ける仕事。
- 鉄筋工事業**
コンクリートの中に鉄筋を知恵の輪のように組み立て、建築物の強度を向上させる。
- ガス圧接工事業**
鉄筋を組み立て、その鉄筋を接合する仕事。
- タイル・レンガ・ブロック工事業**
住宅やビルなどにタイル・レンガを貼り付け、美しい生活空間を演出する。
- 左官工事業**
さまざまな鏝(こ)を使って、1ミリの単位で精度で壁・柱・窓枠などに漆喰(じく)などを塗り、仕上げる。
- 外壁仕上げ工事業**
建物の劣化などを診断し、塗替えなどを行う工事。
- 基礎工事業**
地上の構造物が機能を発揮するための土台を作る工事。
- 板金工事業**
屋根や外壁を中心とした建築外装の仕上げを行う工事。
- 塗装工事業**
塗料の塗り替えや、街の景観向上や建築物を長期間にわたって保護する工事。
- 内装仕上げ工事業**
天井・壁を作り、床を張って部屋に仕上げる工事。
- 屋根工事業**
瓦屋根の設計・施工を行う。
- 防水工事業**
風雨や地下水などから建築物を守るため診断・計画・施工を行う。
- 金属製建具工事業**
ドアやシャッターなどの建具を製作し、施工を行う。
- 電気工事業**
発電所などが正常な運転を維持するための監視制御、通信設備などに係る工事。
- 消防施設工事業**
消防法などに基づき、防火対象物に対して消火設備、防災設備などの設計や修理を行う。
- 管工事業**
水油などの液体や、ガス・水蒸気などの気体を送配する配管の工事。
- 空調衛生設備工事業**
暖房・冷房などの空調設備工事や、給排水・汚水処理などの衛生設備工事。
- 計装工事業**
計測制御設備・自動車組み立て工場などで使用されるシステムを設置する工事。
- 熱絶縁工事業**
建物や機械に硬質ウレタンフォーム断熱材を吹き付ける工事。
- 測量業**
地形や様々な地物の寸法を計測する仕事。
- 地質調査業**
地質・土質など地下の目に見えない部分の情報を調査する仕事。
- 建設コンサルタント**
施工を除く企画・調査などのすべての段階で、事業主を技術的に支援する仕事。